令和5年度　事業報告書

ー新型コロナ禍での事業展開ー

社会福祉法人　館林市社会福祉協議会

令和５年度　第六次地域福祉活動計画に基づく事業報告総括表
ー新型コロナ過での事業展開ー

Ⅰ相談窓口と調整（ネットワーク）

（１）ふれあい・支え合いの地域づくり

◆総合相談事業

市からの受託事業である地域共生社会体制整備事業及び生活支援体制整備事業を基本とし、基盤構築してまいりました重層的支援体制整備事業を、令和５年度から本格的にスタートいたしました。

コロナに注意を払いながら、ふくしの総合相談窓口事業を各種相談の総合窓口と包含的に受け付けし、各種関係機関と連絡調整を繰り返した結果、他機関協働の連携構築を図ることができました。

◆福祉ネット

高齢者あんしん相談センターと生活支援体制整備事業の連携を図りました。

また、地域の実情に応じた課題に対する各支部の地域福祉活動推進会議が定着したほか、本会及び各支部コーディネーター間で情報共有を図ることが常となり、地域福祉活動拡大の基盤構築が図れました。

Ⅱ協力者・支援者（マンパワーリスト）

（２）地域福祉を担う人づくり

◆福祉教育の推進　　◆福祉サービスの充実　　◆人材育成　　◆住民活動

人材育成に関してもコロナに注意を払いながら、小中学校の福祉教育では、車いす体験・高齢者疑似体験・手話・点字等を学習し、市民向けでは、手話奉仕員養成講座・朗読ボランティア養成講座・ふれあいサービス会員養成講座・市民後見人養成講座を開催しました。

更には、予期せぬ災害に備え、地域共助が最も必要とされる災害ボランティアの体験講座も開催し、災害に対する意識向上と人材育成に尽力いたしました。

地域では、生活支援コーディネーターの活躍により地域課題解決のための仕組みづくりが整備され、共助活動が活発化してまいりました。

そして、支部・民生委員児童委員・ボランティア・福祉団体の活動を援護するための財源として、厳正な審査を実施のうえで、適正な助成金を交付いたしました。

Ⅲ集会・行事・活動の場（場の提供）

（３）地域福祉を推進するしくみづくり

◆社協支部活動の充実

各支部生活支援コーディネーターを中心とした支部活動の更なる充実拡大に向けて、支部役員視察研修を実施したほか、「地域での孤独に気づきつながり、つなげ、見守る人材養成研修会」と題した支部役員等研修会を開催しました。研修修了者には「つながりワーカー修了証」を交付し、地域活動推進に役立てられました。

◆子育て支援　　◆場の提供

子育て中の親子同士の交流の場である子育て支援センター「わくわくらんど」、高齢者同士の交流の場であるいきいきサロン及び通いの場、障がい者やひきこもりの方の相談の場でもある居場所づくりカフェ、預かりサービスのファミリーサポートセンター事業も、コロナ５類移行後活発となりました。

◆情報発信

社協の事業や福祉のＰＲ活動を推進するにあたり、福祉まつりを開催したほか、社協だより・ホームページ・チラシの毎戸配布・た～てん出場に加え、Ｘ（旧：ツイッター）も開始しました。

（４）安全・安心して生活ができる環境づくり

◆給付事業　　◆給食事業

在宅介護の方の一部補助として、紙おむつ・尿漏れパットの給付を行ったほか、見守りを含めた配食サービス、孤独解消のための会食サービスを実施しました。

◆介護保険事業

介護保険事業では、コロナ禍による利用者減や休業期間を要したことによる減となりましたが、感染対策を徹底しサービス提供に努めました。

◆派遣事業

聴覚障がい者の日常生活を支援するとともにコミュニケーションを図りました。

◆防災

災害ボランティアセンター運営確認及び市民の意識向上のために災害ボランティアセンター体験講習会を開催したほか、職員による自主防災組織としての福祉避難所訓練を実施しました。

◆生活困窮

低所得世帯を対象に緊急小口資金や生活福祉資金貸付事業と、生活困窮世帯対応として生活困窮者救済事業に加えて地域づくり事業（生活困窮者食料支援事業）としての支援体制を強化しました。

◆権利擁護

地域で安心して生活するための支援である日常生活自立支援事業や後見支援センターも定着し、両事業とも受任件数が増加する中、中核機関として、相談充実及び周知の拡大が図れました。

□組織の整備・強化

◆財政確保　　◆組織強化

組織の整備・強化を維持するため、法人運営に必要な理事会・評議員会・各種委員会を開催し、協議検討をいただきました。

◆指定管理

また、地域住民からの理解と信頼を得て法人運営の財源を確保し、法人運営の安定した経営に努めたほか、館林市総合福祉センターの指定管理を受け、安全な施設運営に努めました。

令和５年度　第六次地域福祉活動計画に基づく事業報告

Ⅰ相談窓口と調整（ネットワーク）

(1)ふれあい・支え合いの地域づくり

	事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
総合相談の仕組みの整備・強化	◆総合相談事業						
	① 法律相談 （市指定管理事業）	市民が日常生活で直面する法律的諸問題に対し、専門家から適切音助言指導を行う無料相談を実施する。	対面での相談対応を再開することができ、相談者も増えた	館林市在住の方のみの利用についてや15分の相談時間について見直す必要あり。	毎週火曜日	相談件数 279 件	家事事件　131 件　生活扶助　2 件 一般民事　90 件　その他　35 件 税務事件　0 件　DV事件　0 件 商事事件　6 件　労働事件　7 件 農地事件　0 件　刑事事件　3 件 借地家事件　5　件 ≪登録弁護士　29　名≫
	② 心配ごと相談	日常生活上のあらゆる悩み事や相談に人権擁護員・行政相談員・民生委員児童委員・学識経験者が無料で応じる相談。	相談時の繋ぎ先等、参考資料を相談員へ配布したことにより、相談者への対応の向上が見込まれた。	毎月、一定数の相談があるが、周知などの広報活動が課題となる。	毎月 第1.3日曜日 第2.4火曜日	相談件数 18 件	家族　3　財産　2　結婚　0 離婚　1　事故　0　生計　2 住宅　1　苦情　1　借金　3 ＤＶ　1　年金　1　医療　1 健康衛生　0　人権.法律　1 精神保健　0　職業.生業　1 老人福祉　1　母子.父子　0 障がい福祉　0　その他　11 ≪ 相談員数　16 名 ≫
	③ 婚活応援相談 （市受託事業）	結婚を希望する独身男女に、人生のパートナー探しのお手伝いをする。	女性登録者が増加したことにより、交際中のカップルが増加した。	交際中の方が増加したため、更なる女性登録者の増加が必要。	毎月 第2.4日曜日 連絡会 第3水曜日	来談者 77 名	登録者　44 名 （男性　32 名・女性　12 名） 来談者　77 名 相談･閲覧　76 名 見合い申し出件数　58 名 見合い実施件数　12 名 交際　5 名 成婚件数　0 名 ≪ 相談員　15 名 ≫
	④ 福祉ｻｰﾋﾞｽ利用者苦情解決事業	本会提供の福祉サービス利用者からの苦情を解決することで、利用者の権利を擁護し、満足感を向上するよう支援する。	利用契約を締結する際に利用者家族へ説明を行っている。	認知度が低く、継続的に制度の周知が必要である。	通年	申出件数 0 件	福祉ｻｰﾋﾞｽ利用者苦情解決 申出件数　0 件 ≪ 第三者委員　2　名 ≫
	⑤ ふくしの総合相談窓口事業	地域住民のためのふくし総合相談窓口を開設し、地域の困りごとを一旦受け止め、必要に応じて適切な支援先につなげる。	ふくしに関する様々な相談に応じ、必要に応じて関係機関と連携しながら対応することができた。	「ふくしの総合相談窓口」としての認知度はまだ低いと感じるため、周知が必要である。	通年	相談件数 665 件	ふくしの総合相談窓口 相談件数　665 件 相談者数　469 名
	⑥ 子どもの総合相談窓口事業 （市受託事業）	地域の中で子供を支えていくための総合的な相談窓口として開設している。	重層的支援体制整備事業と連携して相談対応に取り組むことができた。	子どもの総合相談窓口の認知度が低い。	通年	相談件数 28 件	子どもの総合相談窓口 相談件数　28 件 相談者数　28 名 ランドセル寄贈　2 名 制服寄贈　1 名
地域をつなげる福祉ネット	◆福祉ネット						
	① 高齢者あんしん相談センター社会福祉協議会 （地域包括支援センター） （市受託事業）	市町村･医療機関･サービス提供事業者･ボランティア等と連携し、介護予防や地域高齢者の様々な相談に応じたり、介護予防ケアプランの作成を行う。	地域包括ケアシステムの実現のための地域における多面的連携の展開を目標とし活動できた。	認知症高齢者やその家族を地域からの孤立を防ぎ早期発見・早期治療を地域住民に促していけるよう認知症地域支援推進員を中心として今後も地域に出向き地域力を育成したい。	通年	直営ｹｱﾌﾟﾗﾝ作成件数 791 件	ケアプラン作成件数　791 件 第1号介護予防支援事業(ｹｱﾌﾟﾗﾝ) 延べ　399 件 指定介護予防支援業務(ｹｱﾌﾟﾗﾝ) 延べ　392 件 総合相談事業　816 件 包括的･継続的ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ支援事業 （地域ｹｱﾏﾈ支援）　28 件 その他の事業　22 件 利用者基本情報作成　36 件 個別ケース検討会議　1 件 家族介護教室　1 件 出前講座　3 件

	事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
	② 生活支援体制整備事業 （市受託事業）	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるように住民主体の活動や各種団体等の多様なサービス提供体制を構築し、ネットワーク体制を構築する。	地域の実情に応じ協議体の開催は定着しつつある。住民同士の支え合いの取り組み事業も新たな発掘がなされてきている。	コロナ禍で活動が途絶え、引継ぎが困難になった事例もあり、立て直しが課題である。	通年	第1層 6 回 111 名 第2層 49 回 859 名	地域福祉活動推進会議 第１層　6 回　111 名 第２層 館林支部　12 回　270 名 第三支部　5 回　53 名 第四支部　7 回　107 名 第五支部　4 回　87 名 第六支部　5 回　92 名 第七支部　7 回　70 名 第八支部　7 回　122 名 第九支部　2 回　58 名
	③ 地域共生社会体制整備事業 （市受託事業）	地域住民が抱える様々な福祉の課題を解決するため、ふくし総合相談窓口を設置し相談内容に応じての関係機関と連携できる仕組みづくりを構築する。	複数課題を持つ相談について、多機関と連携し支援方法を模索する他、アウトリーチによる積極的な支援並びに参加支援事業、地域づくり事業につなげることができた。	重層的支援会議（プラン作成）に至るまでのケースが少ない。	通年	相談件数 665 件	ふくし総合相談窓口 相談件数　665 件　469 名 支援会議 支援会議　12 回　207 名 重層的支援会議　12 回　207 名 アウトリーチ　64 回 参加支援事業　12 回　20 名 （ひきこもり支援） 地域づくり支援事業　3 回　306 名 （生活困窮者食料支援） 【小地域ﾈｯﾄﾜｰｸ事業】　13 回　241 名

Ⅱ協力者・支援者（マンパワーリスト）
(2)地域福祉を担う人づくり

	事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
地域で元気な福祉教育の推進	◆福祉教育の推進						
	① 福祉協力指定校･継続校	福祉協力継続校を希望する学校に対し、福祉教育推進事業助成金を交付する。	市内の小中学校全てが継続校となり、助成金対象校となった。	各校実施の助成金使途を案内することも必要である。	通年	協力校 17 校	福祉教育継続校　17 校 小学校　11 校 中学校　5 校 高等学校　1 校
	② 福祉体験学習への協力･支援	社協職員･各種活動団体会員が要請のあった学校へ出向き福祉教育体験を提供する。	実施校の増加や福祉に対する取り組みの向上が図られた。	様々な体験を数回実施校と実施のない学校と差があるため、周知が必要である。	通年	支援件数 14 件	協力･支援件数　14 件 （第2・3・4・5・6・7・8・9・10・美園小学校、第2・4・多々良中学校・特別高等支援学校）
	◆福祉サービスの充実						
	小･中学校ボランティアスクール	夏休みと冬休みにボランティアスクールを実施し、児童生徒のボランティア養成を行う。	当事者の話を聞き、実際に体験することで参加者に満足していただいた。	参加者増加のために興味を持ってもらえる内容の検討が必要である。	実施日 R5.7.28 R5.11.23	参加者 14 名	夏休み　7 名 （小学生　6 名・中学生　1 名） ≪内容≫ 障がい福祉・ボッチャ体験 冬休み　7 名 （小学生　6 名・中学生　1 名） ≪内容≫ 災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ体験・防災食試食
ボランティアセンター機能の充実	◆ボランティアセンター運営委員会						
	ボランティアセンター運営委員会	住民福祉の高揚とボランティア活動の振興を図るため、ボランティア活動の啓発･普及･情報提供や団体等と連絡調整を行う。	事業計画協議及び交付金審査ができた。	ボランティアの啓発、活動場所の開拓等が必要である。	実施日 R5.6.28 R6.3.6	参加者 27 名	第1回　15 名 委嘱状交付　19 名 ボランティア団体補助金交付審査 ボランティアセンター事業計画 第2回　12 名 ボランティアセンター事業報告
	◆ボランティア活動						
	① ボランティア活動保険	ボランティア活動を行う団体･個人に対して、保険加入を支援する。	ボランティア保険加入希望者に対し、適切な加入手続きを行った。	ボランティア保険の周知及び加入促進を図ることが必要である。	通年	加入者 1,263 名	ボランティア保険加入 団体加入　80 団体　1,260 名 個人加入　3 名
	② ボランティア活動需給調整	ボランティア活動希望者と受け入れ希望先のマッチングを行う。	受け入れ希望先が減少している。	受け入れ希望先が減少していることも起因し登録者が増えない。	通年	登録者 36 名	ボランティア登録者　36 名 （新規登録者　0 名） ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動相談件数　9 名 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動調整件数　1 名

<table>
<tr><th></th><th>事業名</th><th>内容</th><th>成果</th><th>課題</th><th>開催日</th><th>参加者等</th><th>実績</th></tr>
<tr><td rowspan="4">地域福祉ニーズに対応した人材育成</td><td colspan="7">◆人材育成</td></tr>
<tr><td>① 介護支援ボランティア

（市受託事業）</td><td>高齢者がボランティア活動を通して地域貢献することを支援し、高齢者自身の介護予防を推進する。</td><td>介護予防ｻﾎﾟｰﾀｰ養成研修及び認知症ｻﾎﾟｰﾀｰｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ講座受講者にﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの説明を行い、登録者は増加した。</td><td>施設でのボランティア受け入れが開門されていない。</td><td>通年</td><td>登録者
218 名</td><td>登録者数
６５歳以上 204 名
６５歳未満 14 名
※うち新規 10 名</td></tr>
<tr><td>② 介護支援ボランティア事後研修

（市受託事業）</td><td>介護支援ボランティアのスキルアップを目的とした研修や情報交換・交流会を実施する。</td><td>介護支援ボランティアのスキルアップを目的とした研修を開催した。参加者からは好評であった。</td><td>第2回の参加者数が第1回や例年と比べ極端に少なかった。内容や周知方法について検討の必要がある。</td><td>実施日
12月13日

1月23日</td><td>参加者
30 名</td><td>第1回 21 名
地域で支える認知症～認知症の人への対応～
第2回 9 名
車いすの正しい使い方</td></tr>
<tr><td>③ 手話奉仕員養成講座

（市受託事業）</td><td>手話の基本技術を学び、聴覚障がい者に対する理解を深めるとともに奉仕員を目指す講座を開催する。</td><td>講習会を毎年開催することができたので、基礎編へと継続する人が増えた。</td><td>講習会の継続的開催と手話通訳者養成研修への継続が難しい</td><td>実施日
R5.6.1
～11.30</td><td>参加者
26 名</td><td>入門編 13 名
基礎編 13 名</td></tr>
<tr><td rowspan="4">NPO法人・住民活動の連携充実</td><td colspan="7">◆住民活動</td></tr>
<tr><td>① ＮＰＯ法人連絡会</td><td>平成16年5月30日に県内初の連絡協議会を設立した。</td><td>コロナで中止していた役員会など開催することができた。</td><td>加入率が低いため、新たな法人に加入周知が必要である。</td><td>実施日
R5.6.1
R5.5.28

R5.7.25

R5.9.12

R6.1.25</td><td>参加者
38 名</td><td>第1回役員会 3 名
定期総会 8 名
令和4年度事業報告・決算
令和5年度事業計画・予算
第2回役員会 10 名

第3回役員会 9 名

第4回役員会 8 名</td></tr>
<tr><td>② ふれあいサービス</td><td>空いている時間を使って、手助けを必要としている方の支える有償の日常支援サービスを提供する。</td><td>コロナで中止していたが徐々に依頼が増えて、それぞれ対応できた。</td><td>高齢者の依頼が増え対応できるサービス会員が限定しているため、新たな会員を増やす必要がある。</td><td colspan="3">●ふれあいサービス利用状況
<table>
<tr><th rowspan="2">月</th><th rowspan="2">新規登録</th><th rowspan="2">相談件数</th><th rowspan="2">利用件数</th><th rowspan="2">実活動者</th><th rowspan="2">利用時間</th><th rowspan="2">実利用者</th><th colspan="2">チケット</th></tr>
<tr><th>売上実績</th><th>利用料</th></tr>
<tr><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>40</td><td>8</td><td>52</td><td>13</td><td>26,000</td><td>31,200</td></tr>
<tr><td>5</td><td>2</td><td>5</td><td>39</td><td>9</td><td>51</td><td>14</td><td>25,600</td><td>30,700</td></tr>
<tr><td>6</td><td>0</td><td>3</td><td>32</td><td>8</td><td>37</td><td>12</td><td>18,600</td><td>22,300</td></tr>
<tr><td>7</td><td>4</td><td>4</td><td>32</td><td>9</td><td>33</td><td>14</td><td>16,600</td><td>19,900</td></tr>
<tr><td>8</td><td>1</td><td>2</td><td>34</td><td>8</td><td>44</td><td>14</td><td>22,100</td><td>26,500</td></tr>
<tr><td>9</td><td>0</td><td>5</td><td>32</td><td>10</td><td>38</td><td>13</td><td>19,600</td><td>23,400</td></tr>
<tr><td>10</td><td>0</td><td>3</td><td>28</td><td>7</td><td>33</td><td>12</td><td>16,600</td><td>19,900</td></tr>
<tr><td>11</td><td>1</td><td>2</td><td>25</td><td>7</td><td>30</td><td>10</td><td>15,100</td><td>18,100</td></tr>
<tr><td>12</td><td>0</td><td>0</td><td>30</td><td>9</td><td>38</td><td>13</td><td>19,100</td><td>22,900</td></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>4</td><td>25</td><td>8</td><td>28</td><td>12</td><td>14,150</td><td>16,950</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>4</td><td>27</td><td>9</td><td>32</td><td>13</td><td>16,200</td><td>19,400</td></tr>
<tr><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>33</td><td>10</td><td>42</td><td>13</td><td>21,100</td><td>25,300</td></tr>
<tr><td>計</td><td>13</td><td>34</td><td>377</td><td>102</td><td>458</td><td>153</td><td>230,750</td><td>276,550</td></tr>
</table>
●産前産後サポーター利用状況
<table>
<tr><th rowspan="2">月</th><th rowspan="2">新規登録</th><th rowspan="2">相談件数</th><th rowspan="2">利用件数</th><th rowspan="2">実活動者</th><th rowspan="2">利用時間</th><th rowspan="2">実利用者</th><th colspan="2">チケット</th></tr>
<tr><th>売上実績</th><th>利用料</th></tr>
<tr><td>4</td><td>1</td><td>0</td><td>13</td><td>2</td><td>25</td><td>3</td><td>12,500</td><td>15,000</td></tr>
<tr><td>5</td><td>3</td><td>5</td><td>12</td><td>3</td><td>23</td><td>4</td><td>11,500</td><td>13,800</td></tr>
<tr><td>6</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>4</td><td>1</td><td>2,400</td><td>2,400</td></tr>
<tr><td>7</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>4</td><td>1</td><td>2,000</td><td>2,400</td></tr>
<tr><td>8</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td><td>1</td><td>8</td><td>1</td><td>4,000</td><td>4,800</td></tr>
<tr><td>9</td><td>1</td><td>2</td><td>7</td><td>2</td><td>10</td><td>2</td><td>5,600</td><td>6,600</td></tr>
<tr><td>10</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td><td>6</td><td>2</td><td>3,000</td><td>3,600</td></tr>
<tr><td>11</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td><td>1</td><td>1,500</td><td>1,800</td></tr>
<tr><td>12</td><td>2</td><td>4</td><td>4</td><td>1</td><td>8</td><td>2</td><td>4,000</td><td>4,800</td></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>2,200</td><td>2,500</td></tr>
<tr><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td><td>6</td><td>3</td><td>3,000</td><td>3,600</td></tr>
<tr><td>3</td><td>0</td><td>3</td><td>6</td><td>3</td><td>12</td><td>3</td><td>6,000</td><td>7,200</td></tr>
<tr><td>計</td><td>15</td><td>27</td><td>61</td><td>22</td><td>113</td><td>25</td><td>57,700</td><td>68,500</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td></td><td>③ 買い物支援サービス

（市補助事業）</td><td>免許返納等により移動手段がなく買い物に困っている高齢者の食を守るため、買い物支援を行う。</td><td>コロナ禍による代替えで移動販売車を利用し支援を行うことができた。</td><td>買い物支援再開に向け、各地区の意見をまとめ、協力施設との検討が必要である。</td><td>通年</td><td>実施
6 地区</td><td>● 実施地区
移動販売車活用の買い物支援
第三支部 （若宮町）
第四支部 （岡里地区.大島地区）
第五支部 （羽附旭町.上赤生田町）
第七支部</td></tr>
</table>

	事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
助成金交付	① 支部活動助成金	支部活動助成金を助成する。	助成金審査を実施し適切に交付できた。	特になし	交付日 R5.6.20	交付額 280,000 円	申請　7 支部 ※1支部　40,000円
	② 民生委員児童委員活動助成金	民生委員児童委員活動助成金を交付する。	助成金審査を実施し適切に交付できた。	特になし	交付日 R5.8.20	交付額 641,000 円	市民児協　1 か所　180,000 円 地区民児協　10 か所　461,000 円
	③ ボランティア活動助成金	ボランティア活動助成金を助成する。	助成金審査を実施し適切に交付できた。	特になし	交付日 R5.7.20	交付額 168,160 円	ボランティア団体　5 団体 （申請額　172,400 円） 子ども会育成団体連絡協議会 （申請額　25,000 円）
	④ 福祉団体活動助成金	福祉団体活動助成金を助成する。	助成金審査を実施し適切に交付できた。	特になし	交付日 R5.8.21	交付額 416,000 円	福祉団体　6 団体 （申請額　416,000 円）
	⑤ 高齢者活動助成金	歩行補助車購入費の一部を補助する。	申請者なし	活用に繋がるよう周知を行う必要がある。	通年	交付額 0 円	歩行補助車購入費一部補助　0 件 ※1件　2,000円
	⑥ 交通遺児育英資金給付金	生計中心者が交通事故により死亡又は障害により所得を失う若しくは著しく減少した市内小中高校生に対し資金を給付する。	申請者なし	特になし	上半期 ― 下半期 ―	交付額 0 円	交付件数　0 件 小学生　0 件　(3,000円/月) 中学生　0 件　(4,000円/月) 高校生　0 件　(5,000円/月)

Ⅲ集会・行事・活動の場（場の提供）
(3)地域福祉を推進するしくみづくり

	事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
社協支部活動の支援・強化	◆社協支部活動の充実						
	① 社協支部助成事業	社協支部の活動を支援するため、一般会費及び法人会費の納入実績に応じて助成金を交付する。	適正な助成金交付ができた。	行政区ではなく支部活動への交付金であることを理解いただくことが必要である。	交付日 R5.8.15	交付 8 支部	支部数　8 支部 交付額　5,720,350 円
	② 社協支部視察研修	社協支部の充実強化を図るため、先進地の調査研究を行う。	社協の価値を高め、選ばれる社協にするための社協ブランディングを学んだ。	社協活動に興味を持たれるようなＰＲの工夫が必要である。	実施予定日 R5.11.29	参加者 21 名	【内容】 社協のブランド戦略・ＰＲ戦略を考える ～地域での認知をあげ、人材確保にもつなげるために
	③ 社協支部役員研修会	地域共生社会の実現を図るための研修会を開催する。	地域福祉活動における地域住民としての役割を学ぶことができた。	地域共生社会の実現のため社協支部役員・地域住民として学びを得る研修会を実施する必要がある。	実施日 R5.12.14	参加者 93 名	【内容】 地域での孤独に気づき「つながり・つなげ・見守る」人材を育成する研修
	④ 社協支部長会	社協支部の代表者により、法人の事業運営に関する会議を開催する。	社会福祉法人法改正により、理事会開催回数が制限されたため、隔月で支部長会議を開催し意思疎通と共に業務執行の適正化を図っている。	継続的な実施により本会との連携を深め、スムーズな業務遂行に繋げる。	開催日 R5.4.13 R5.6.8 R5.8.10 R5.10.12 R5.12.14	参加者 109 名	4月期　18 名 事業計画･予算、行事予定、組織機構図、事務分掌、会費募集、地域づくり活性化事業、支部代表理事選出 6月期　20 名 地域福祉功労者推薦依頼、理事会報告 第七次地域福祉活動計画の策定 8月期　18 名 理事会報告、社協会費結果と交付金 第３９回福祉まつり、市民後見人養成講座事前セミナー 10月期　18 名 理事会内容予定、社協表彰･川柳表彰 手をつなぐ育成会会費募集 上半期事業報告･下半期事業予定 優良地区社協表彰報告 12月期　16 名 地域福祉功労表彰推薦基準、新年互礼会、全社協会長表彰受賞、安全運転管理者協議会優良事業所表彰受賞、年末年始の業務内容、介護保険事業の運営方針、市議会傍聴

	事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
					R6.2.8		2月期　19 名 表彰規程の一部改正、委員推薦依頼、支部活動記事依頼、理事会内容、次年度会議日程、第７次地域福祉活動計画
地域みんなで支える子育て支援	◆子育て支援						
	① ファミリーサポートセンター事業 （市指定管理事業）	育児援助を受けたい方と行いたい方がそれぞれ会員となり、地域での子育て支援を行う。	ひとり親家庭・障害のあるお子さんのサポートに積極的に支援できた	まかせて会員の増員	通年	派遣件数 1,264 件	派遣件数　1,264 件 おねがい会員登録者　277 名 まかせて会員登録者　68 名 どっちも会員登録者　6 名
	② 子育て支援センターわくわくらんど （市受託事業）	子育て親子の交流の場の提供をする。	イベント開催時の人数制限も緩和し、賑やかに行えるようになったことで利用者同士の交流など楽しんでもらえた。	コロナ禍より利用者が減少。子育て支援センターを知らない方への周知が必要である。	通年	利用者 2,750 名	●利用実績 月 / こども / 大人 / 合計 / 登録 4: 92 / 78 / 170 / 20 5: 78 / 69 / 147 / 8 6: 84 / 78 / 162 / 11 7: 106 / 90 / 196 / 11 8: 119 / 89 / 208 / 7 9: 127 / 111 / 238 / 7 10: 122 / 109 / 231 / 6 11: 149 / 136 / 285 / 8 12: 139 / 123 / 262 / 4 1: 139 / 129 / 268 / 11 2: 146 / 132 / 278 / 2 3: 159 / 146 / 305 / 2 合計: 1,460 / 1,290 / 2,750 / 97
地域住民への場の提供	◆場の提供						
	① ふれあい・いきいきサロン	地域福祉の充実を図るため、地域住民が主体となりふれあいの場を設け、交流活動の支援をする。	コロナ禍が過ぎ、活動自粛団体の再開や新規のサロンが増えた。	高齢化により、運営等の担い手不足が課題であることが、明らかになった。	通年	設置数 38 か所	設置数　38 か所 会員数　975 名
	② 通いの場 （市受託事業）	地域の高齢者が身近な場所で、介護予防に取り組む居場所づくりを目的とする。	立ち上げ支援等活動が円滑に行えるよう支援を行った。	サロンと通いの場の違いについて引き続き周知を行い、活動場所が増えるよう支援する必要がある。	通年	設置数 43 か所	設置数　43 か所 新規　4 か所 休止　1 か所
	③ 居場所作りカフェ	総合福祉センターを拠点に認知症について相談できる場所の提供を行う。	認知症のかただけでなく、全世代が集える居場所作りを目指す。	認知度がまだ少ないため、周知が必要。	毎月 第3金曜日	利用者 26 名	個別相談会として実施 10 回　26 名
情報発信の充実・強化	◆情報発信						
	① 福祉まつり	子どもからお年寄り、障がいをお持ちのかたや市内地域福祉向上のため活動している団体の方々が一堂に会し、福祉まつりを開催する。	４年ぶりに開催した。例年の内容を変更したことにより、想定以上の来場者があり、好評の声をもらうことができた。	新たな改善点が発見できたため、職員間で共有し次回の参考とする。	実施予定日 R5.9.10		再開をきっかけに例年の形態を変更した。 変更点として、キッチンカーの誘致や社協PRのための「社協の広場」を新たに加え、その他にも自衛隊、人形劇団の誘致も行い、好評の声をいただいた。来場者数も１万人以上あり、盛大に開催することができた。
	② ふれあいスポーツ大会 （市補助事業）	日頃スポーツに接することの少ない高齢者や障がい者等が一堂に会し、スポーツを通してふれあいと相互理解を深め、健康づくりを行う。					会場使用不可により中止
	③ 社協だより （共同募金配分事業）	市民に向け、社協で取り組む地域福祉活動やボランティア活動の紹介等、福祉の情報発信をする。	定期的に情報発信を行うことができた。コロナが落ち着き、活動も活発になって、活動報告が増えた。	社協の事業や活動を多くのかたに知ってもらえるようにわかりやすい情報発信が必要である。	発行日 R5.5.1 R5.7.1	発行回数 5 回	内容 5月号 事業計画・予算・市民後見人3人目誕生等 7月号 事業報告・決算・法人会費協力法人紹介等

	事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
					R5.9.1 R5.11.1 R5.12.27		9月号 敬老の日・介護川柳募集・事業紹介等 11月号 福祉まつり・サロン紹介・歳末たすけあい募金案内等 1月号 新年あいさつ・社協表彰・介護の日報告等
	④ 点字広報・声の広報発行事業 （市受託事業）	視覚障がい者へ広報館林や社協だよりを録音し送付する。	音訳朗読の会及び点訳サークルあいへそれぞれ依頼して、視覚障がい者へ情報提供ができた。	社協役員として視覚障がい者のかたが選出されたので、今後の情報提供に取り組む。	通年	発行数 51 回	内容 広報たてばやし 12 回 市議会だより 5 回 社協だより 5 回 その他 10 回 （情報誌かるがも・点字JBﾆｭｰｽ） 点字図書貸出 7 回 点訳依頼文書 12 回
	⑤ ホームページ	毎月１回更新し地域福祉に関する情報発信を行う。	月に１度更新し、情報発信を行うことができた。	市民にとってわかりやすい、使い勝手の良いホームページとは言い難く、モ[illegible]	通年	更新回数 12 回	定期更新 12 回
	⑥ マスコットキャラクターの活用	福祉まつり・街頭募金等の行事に参加し、社協のPRに努める。	福祉まつりにて来場者とふれあうことができた。	イベントが再開にあたり、活用場所の検討が必要。	通年	貸出数 3 回	7月 施設訪問 1 回 9月 福祉まつり 1 回 3月 芋煮会 1 回

(4)安全・安心して生活ができる環境づくり

高齢者・障がい者とも安心できる環境

◆給付事業

① 紙おむつ等給付事業 （共同募金配分事業） （市受託事業）	市内に居住かつ住所を有する要介護者及び障がい者等で在宅生活を送るうえで紙おむつ等を必要とする方に紙おむつ等を給付する。	配布回数は介護度4・5の課税世帯は年2回、その他の課税世帯は年2回、非課税世帯は年4回）	オムツの価格が高騰しているため配布内容の再検討が必要である。	給付日 R5.6/26.27.28.29 R5.9/25.26.27.28 R5.11/27.28.29.30 R6.2/26.27.28.29	給付者 877 名	268 名 課税 103 名 非課税 165 名 （うち、新規 51 名） 173 名 課税 20 名 非課税 153 名 （うち、新規 32 名） 270 名 課税 110 名 非課税 160 名 （うち、新規 24 名） 166 名 課税 11 名 非課税 155 名 （うち、新規 26 名）
② 尿漏れパット給付事業 （共同募金配分事業）			市民からの要望により、今年度より紙おむつ、尿もれパットは数種類のセットの中から選択式で配布することとなったため、①紙おむつ等給付事業と②尿もれパット給付事業は統合となった。			

◆給食事業

① 会食サービス事業 （市受託事業）	高齢者世帯又は日中高齢者のみの世帯を対象に月1回、地域の公民館等で昼食会を開催し、高齢者の孤独感解消につなげる。	コロナ禍において実施できない状況が継続していたが、再開できた会場もある。	ボランティアが減少及び高齢化している。	通年	参加者 1,031 名	●利用実績

月	会場	対象者	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	合計
4	5	52	34	86
5	6	59	47	106
6	6	62	53	115
7	6	46	50	96
8	3	16	17	33
9	6	55	49	104
10	5	32	37	69
11	6	61	46	107
12	4	43	29	72
1	5	46	36	82
2	5	46	35	81
3	5	45	35	80
合計	62	563	468	1,031

② 配食サービス事業 （市受託事業）	高齢者世帯又は日中高齢者のみのになってしまう方を対象に、高齢者の見守りを兼ねて昼の弁当を配達する。	申請時に緊急連絡先を確認することで、対象者不在時や緊急事態発生時にスムーズに確認ができるようになった。	利用料支払が銀行払いのみであるため支払方法の検討が必要である。 （利用者及び家族より苦情多数のため、行政へ報告済み）	月～金曜日	利用者 1,324 名	●利用実績

月	配達	利用者	食数	平均
4	20	109	1,469	73.5
5	18	110	1,426	79.2
6	22	113	1,719	78.1
7	20	110	1,551	77.6
8	19	106	1,388	73.1
9	20	110	1,542	77.1
10	21	120	1,651	78.6
11	20	113	1,556	77.8
12	20	113	1,547	77.4
1	18	109	1,364	75.8
2	19	107	1,370	72.1
3	20	104	1,442	72.1
合計	237	1,324	18,025	76.1

事業名	内容	成果	課題	実績
◆介護サービス				
① 居宅介護支援事業	居宅の要介護者が居宅サービス等を適切に利用できるよう、心身の状況、置かれている環境、要介護者の希望等を勘案し、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業者等との連絡調整を行い、介護保険施設等への入所を要する場合は、当該施設等への紹介を行う。	在宅生活の継続のために、医療機関と更なる円滑な連携を図るためのカンファレンス等を設定し、多職種から助言指導いただくことができた。館林市若年がん患者在宅療養支援助成事業のサービス提供事業者として事業所の紹介・調整等を実施している。	地域の中で、「介護の重度化」「精神疾患的な症状」「障害のある高齢者や若年性の認知症」「複雑な家族関係」等の困難事例が増えている。高齢者の枠を超えた包括的なケアマネジメント力を培うことが大きな課題となっている。	●ｹｱﾌﾟﾗﾝ作成 月 / 利用者 4: 61 5: 71 6: 63 7: 63 8: 62 9: 66 10: 63 11: 63 12: 64 1: 64 2: 65 3: 62 合計: 767 ●介護予防支援計画 月 / 利用者 4: 17 5: 17 6: 17 7: 19 8: 18 9: 17 10: 17 11: 16 12: 15 1: 15 2: 17 3: 16 合計: 201 ●認定調査 月 / 利用者 4: 8 5: 6 6: 9 7: 4 8: 8 9: 8 10: 8 11: 8 12: 10 1: 12 2: 7 3: 11 合計: 99
② 訪問介護事業	要介護者及び要支援者の方の自宅を訪問し、自立した在宅生活を送ることができるようサービスを提供する。	新型コロナウイルス感染症の疑い利用者に対し迅速に対応し、感染予防対策を徹底し、サービス提供することができた。また、急遽の依頼が多く、早急な対応と定期的に支援することで生活の安定を図ることができた。	身体介護サービスが減少し生活支援サービスが増加している。家事代行サービスとしての認識が強いため、専門職としての訪問介護利用を明確にし関係機関との連携が必要。 職員の高齢化と人材確保が課題。	●訪問介護事業：要介護１～５ 月 / 利用者 / 身体介護 / 生活援助 / 身体生活 / 乗降 / 訪問回数 4: 13 / 0 / 74 / 64 / 16 / 154 5: 13 / 28 / 77 / 66 / 23 / 194 6: 13 / 23 / 76 / 64 / 19 / 182 7: 12 / 0 / 68 / 66 / 20 / 154 8: 10 / 0 / 54 / 66 / 19 / 139 9: 11 / 0 / 77 / 64 / 20 / 167 10: 13 / 0 / 85 / 44 / 23 / 152 11: 13 / 0 / 84 / 44 / 19 / 147 12: 13 / 0 / 90 / 42 / 21 / 153 1: 16 / 1 / 96 / 43 / 24 / 164 2: 18 / 0 / 109 / 41 / 22 / 172 3: 16 / 0 / 109 / 43 / 19 / 171 合計: 161 / 52 / 999 / 647 / 245 / 1,949 ●介護予防訪問介護事業：要支援１・２ 月 / 利用者 / 週1 / 週2 / 週3 / 事業対象者 人数 / 事業対象者 回数 / 訪問型A 人数 / 訪問型A 回数 / 訪問回数 4: 26 / 10 / 10 / 2 / 2 / 20 / 2 / 4 / 161 5: 25 / 11 / 7 / 3 / 2 / 21 / 2 / 4 / 173 6: 24 / 9 / 8 / 3 / 2 / 22 / 2 / 5 / 176 7: 25 / 9 / 8 / 4 / 2 / 21 / 2 / 4 / 179 8: 25 / 8 / 9 / 4 / 2 / 16 / 2 / 5 / 175 9: 24 / 8 / 10 / 2 / 2 / 22 / 2 / 4 / 157 10: 25 / 10 / 9 / 2 / 2 / 21 / 2 / 4 / 163 11: 25 / 10 / 10 / 1 / 2 / 20 / 2 / 5 / 159 12: 27 / 11 / 11 / 1 / 2 / 20 / 2 / 3 / 164 1: 26 / 13 / 9 / 1 / 1 / 12 / 2 / 4 / 146 2: 25 / 12 / 9 / 1 / 1 / 10 / 2 / 5 / 147 3: 22 / 11 / 8 / 1 / 0 / 0 / 2 / 4 / 124 合計: 299 / 122 / 108 / 25 / 20 / 205 / 24 / 51 / 1,924
（障がい訪問介護）	障害者総合支援法に基づき、市町村から障害福祉サービスの支給決定を受けた方の自宅を訪問し、日常生活を送れるようサービスを提供する。	新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、精神的ケアも含めサービスを提供することができた。	利用者の状態により訪問可能な職員が限定され、職員への精神的負担が大きいため、相談支援事業所との連携が必要。	●障害者総合支援法：身体・知的・精神障がい者 月 / 利用者 / 内訳 身体 / 内訳 知的 / 内訳 精神 / 訪問回数 4: 6 / 1 / 1 / 4 / 84 5: 5 / 1 / 0 / 4 / 80 6: 5 / 1 / 0 / 4 / 82 7: 5 / 1 / 0 / 4 / 84 8: 5 / 1 / 0 / 4 / 85 9: 5 / 1 / 0 / 4 / 81 10: 5 / 1 / 0 / 4 / 85 11: 5 / 1 / 0 / 4 / 81 12: 5 / 1 / 0 / 4 / 80 1: 5 / 1 / 0 / 4 / 76 2: 5 / 1 / 0 / 4 / 81 3: 5 / 1 / 0 / 4 / 78 合計: 61 / 12 / 1 / 48 / 977
③ 訪問入浴介護事業 （障がい含む）	自宅浴槽での入浴が困難な方に対し自宅に訪問し、入浴車で入浴するサービスを提供する。	新型コロナウイルス感染症の疑い利用者に対し迅速に対応し、感染予防対策を徹底し、サービス提供することができた。（8月に自主休業1日含む）２月より新規利用者１名増となった。	職員が兼務体制のため稼働日が週２日となり、新規対応が困難である。従事者の不足により、市受託事業については、本年度にて終了となる。	●訪問入浴介護事業：要介護１～５ 月 / 利用者 / 回数 / 内訳 全身浴 / 内訳 部分浴 4: 6 / 24 / 24 / 0 5: 5 / 25 / 25 / 0 6: 5 / 24 / 24 / 0 7: 5 / 20 / 20 / 0 8: 4 / 17 / 17 / 0 9: 4 / 22 / 22 / 0 10: 4 / 23 / 23 / 0 11: 4 / 17 / 17 / 0 12: 4 / 21 / 21 / 0 1: 4 / 18 / 18 / 0 2: 4 / 18 / 18 / 0 3: 4 / 14 / 14 / 0 合計: 53 / 243 / 243 / 0 ●身体障がい者 月 / 利用者 / 利用者 4: 3 / 18 5: 3 / 19 6: 3 / 19 7: 3 / 19 8: 3 / 16 9: 2 / 14 10: 3 / 20 11: 3 / 15 12: 3 / 21 1: 3 / 18 2: 3 / 18 3: 3 / 19 合計: 35 / 216

事業名	内容	成果	課題	実績
④ 通所介護事業	要介護者及び要支援者に対し、送迎・レクリエーション・機能回復訓練・食事・入浴のサービスを提供する。	小学校との交流会、イベントを再開することができ、オンラインレクを導入することにより利用者の楽しみを増やすことができた。	職員の介護技術の向上、人材確保が必要である。昼食内容を改善するために事業所の見直しが必要。	●利用実績

●利用実績

月	要介護１～５ 利用者	回数	入浴	送迎	要支援１・２ 利用者	回数	事業対象者
4	24	314	271	621	15	74	0
5	26	320	253	635	14	77	0
6	26	306	249	604	16	74	0
7	25	276	223	546	16	86	0
8	25	308	253	609	18	84	0
9	26	326	268	647	15	78	0
10	25	294	240	579	13	75	0
11	26	298	217	590	13	82	0
12	26	309	265	613	14	73	0
1	30	309	212	612	13	63	0
2	30	326	279	647	12	63	0
3	29	339	278	674	12	64	0
合計	318	3,725	3,008	7,377	171	893	0

⑤ 介護保険事業収入状況

介護保険４事業（居宅介護支援・訪問介護・訪問入浴・通所介護）と、障がい訪問介護と障がい訪問入浴のサービスを提供する。

月	区分	居宅介護支援 介護報酬＋認定調査受託金	訪問介護 介護報酬＋自己負担（障がい者含む）	訪問入浴 介護報酬＋自己負担（障がい者含む）	通所介護 介護報酬＋自己負担	合計
4	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	823,500	1,317,870	543,800	2,803,610	5,488,780
	差　異	△ 256,750	△ 227,463	77,633	△ 1,615,890	△ 2,022,470
5	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	924,360	1,385,290	606,800	3,126,340	6,042,790
	差　異	△ 155,890	△ 160,043	140,633	△ 1,293,160	△ 1,468,460
6	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	840,720	1,354,270	541,800	2,832,140	5,568,930
	差　異	△ 239,530	△ 191,063	75,633	△ 1,587,360	△ 1,942,320
7	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	836,980	1,304,090	491,400	2,539,470	5,171,940
	差　異	△ 243,270	△ 241,243	25,233	△ 1,880,030	△ 2,339,310
8	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	826,860	1,321,720	415,800	3,131,014	5,695,394
	差　異	△ 253,390	△ 223,613	△ 50,367	△ 1,288,486	△ 1,815,856
9	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	887,620	1,238,140	453,600	3,053,470	5,632,830
	差　異	△ 192,630	△ 307,193	△ 12,567	△ 1,366,030	△ 1,878,420
10	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	829,220	1,211,800	541,800	2,778,080	5,360,900
	差　異	△ 251,030	△ 333,533	75,633	△ 1,641,420	△ 2,150,350
11	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	809,400	1,141,850	403,200	2,615,040	4,969,490
	差　異	△ 270,850	△ 403,483	△ 62,967	△ 1,804,460	△ 2,541,760
12	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	903,240	1,188,140	529,200	3,358,010	5,978,590
	差　異	△ 177,010	△ 357,193	63,033	△ 1,061,490	△ 1,532,660
1	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	889,900	1,096,220	453,600	2,828,730	5,268,450
	差　異	△ 190,350	△ 449,113	△ 12,567	△ 1,590,770	△ 2,242,800
2	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	895,540	1,234,820	455,600	2,978,820	5,564,780
	差　異	△ 184,710	△ 310,513	△ 10,567	△ 1,440,680	△ 1,946,470
3	予算額	1,080,250	1,545,333	466,167	4,419,500	7,511,250
	収入額	871,460	1,140,380	474,800	3,147,150	5,633,790
	差　異	△ 208,790	△ 404,953	8,633	△ 1,272,350	△ 1,877,460
合計	予算額	12,963,000	18,543,996	5,594,004	53,034,000	90,135,000
	収入額	10,338,800	14,934,590	5,911,400	35,191,874	66,376,664
	差　異	△ 2,624,200	△ 3,609,406	317,396	△ 17,842,126	△ 23,758,336

課題・成果

新型コロナウイルスが５類へ移行したが、感染症予防対策を徹底し利用者の協力によりサービスを提供することができた。

人材育成、人材確保が必要である。

利用者の自立や自己決定、利用者本位の個別ニーズへ対応できる質の高いサービス提供をする組織づくりが課題である。

◆派遣事業

① 手話通訳者派遣事業 （市受託事業）	聴覚障がい者が社会生活においてコミュニケーションが困難な場合、情報保障とコミュニケーションの支援を行うため、手話通訳者を派遣する。	依頼内容が医療関係のみならず教育関係会議等が依頼が増えているが、それぞれに対応して派遣できている。	手話通訳者の人材育成及び資質の向上に努める。	通年	派遣件数 256 件

●派遣実績　≪ 手話通訳者　18　名 ≫

月	利用者	内訳 専任	登録	その他
4	29	0	30	0
5	20	0	21	0
6	18	0	19	0
7	18	0	18	0
8	26	0	29	0
9	18	0	22	0
10	21	0	26	0
11	21	0	23	0
12	16	0	16	0
1	23	0	24	0
2	15	0	17	0
3	31	0	31	0
合計	256	0	276	0

	事業名	内容	成果	課題	実績		
	② 要約筆記者派遣事業 （市受託事業）	聴覚障がい者が社会生活においてコミュニケーションが困難な場合、情報保障とコミュニケーション支援を行うため要約筆記者を派遣する。	難聴者の依頼通りに派遣することができた。	要約筆記派遣事業の周知が課題である。	通年	派遣件数 4 件	●派遣実績　≪ 要約筆記者　3　名 ≫ 期間 / 利用者 / 内訳（専任 / 登録 / その他） 上半期 1 / 0 / 1 / 0 下半期 3 / 0 / 9 / 0 合計 4 / 0 / 10 / 0 ※１時間以上の場合は複数名で対応
	③ 要約筆記ボランティア養成事業	要約筆記の初歩的な技術と制度を学ぶ。	実施計画ができていない。	予算の作成が課題である。	実施なし		
	◆寝具乾燥殺菌						
	寝具乾燥殺菌事業 （市受託事業）	概ね６５歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に寝具の丸洗い乾燥殺菌を行う。	対象者と業者の調整を行いスムーズに事業実施できた。	民協等で周知を行っているが需用が少ない。	実施日 R5.5.23（30） R5.9.26（10.3） R6.1.23(1.30) ※()内は返却日	利用者 24 名	利用実績 第１回　11 名 第２回　6 名 第３回　7 名
防犯・防災体制の充実	◆防災						
	① 災害ボランティアセンター	災害ボランティアの育成を進めるとともに災害時の災害ボランティアセンター設置・訓練及びボランティアの派遣体制確保を行う。	参加者の災害に対する意識向上を図ると同時に設置訓練として、職員間でも流れや連携などを確認することができた。	多くの方に参加していただけるよう、周知に尽力し、職員間での連携を深める必要がある。	実施日 R5.11.23	参加者 29 名	参加者内訳 一般参加者　21 名 講師　1 名 職員　7 名 内容 午前の部：講師による講話と実技 昼　食：災害用の食事の提供 午後の部：災害ボランティアセンター設置訓練
	② 自主防災組織／福祉避難所	災害発生時に福祉避難所を迅速に開設できるよう、物資の保管場所及び内容確認訓練を行う。	担当課職員の災害に対する意識の向上、物品については在庫管理が重要であると再確認ができた。	物品保管場所や内容については全職員に周知。物品（テント等）の稼働確認や備蓄品のニーズ調査の必要性あり。	実施日 R6.1.29	参加者 4 名	参加者内訳 職員　4 名 内容 物資の保管場所及び内容確認を行う
生活困窮者等への自立支援の充実	◆生活困窮						
	① 生活福祉資金貸付事業 （県社協受託事業）	低所得者・障がい者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に貸付を行う。	制度条件が合致する世帯は少なく申請まで至らないが、他制度案内を含め、真摯に貸付相談を受けることができた。	申請に至らない場合、他制度の紹介先と連携する必要がある。	通年	相談件数 82 件	通常貸付 申請　2 件　相談　46 件 ≪内訳≫ 就学支援資金　2 件 緊急小口貸付資金　40 件 総合支援資金　件 不動産担保貸付資金　件 福祉資金　4 件 特例貸付（コロナによる収入減） 相談　36 件
	② 生活困窮者救済事業 （共同募金配分事業）	生活困窮している方を対象に、緊急かつ一時的支援として食糧及びライフラインの物資支援を行う。	一時的に困窮しているかたを食糧支援することにより命をつなぐことができた。	慢性的に困窮している方は、困窮改善まで至らないため、他機関と連携が必要である。	通年	支援件数 15 件	食糧支援 13 世帯 25 名分 ライフライン　2 世帯 ≪内訳≫　電気　1 件 ガス　1 件 水道　0 件
権利擁護の充実	◆権利擁護						
	① 日常生活自立支援事業 （県社協受託事業）	日常的金銭管理を行うことで、高齢者及び障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する。	新規相談に対し、即座の対応が行えた。	感染症の関係で施設での面会もまだ厳しく、本人との面会が十分に行えなかった。	通年	相談件数 1,422 件	相談件数　1,422 件 実利用者数　58 名 新規契約件数　9 件 （館林管内支援員数　22 名）
	② たてばやし後見支援センター （市受託事業）	後見制度の相談窓口を行う。また、後見制度の普及活動及び市民後見人の養成を行う。	後見制度周知及び市民後見人養成講座を開講することができた。	市民後見人養成講座受講希望者が少ないため、講習会の開催にあたり調整が困難である。	通年	相談件数 38 件	相談件数　38 件 市民後見人養成講座修了者　6 名 フォローアップ研修　4 回　82 名 後見支援センター運営会議　4 回 市民後見人　3 名

	事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
	③ 法人後見	法人として後見人となり長期間の継続・組織による困難事例の対応、ネットワークを活用した支援を行う。	関係機関とのネットワークを活用しながら適切に支援を行うことができた。	後見支援員の人数が少ないため、後継育成のためにも養成が必要。	通年	受任件数 4 件	受任件数　4 件 （合計　28 件） 法人後見運営委員会　4 回

□組織の整備・強化

自主財源の確保	◆財源確保						
	① 一般会費	一口500円を会費として市内全世帯へ協力依頼し、そのうち、300円を支部社協へ交付する。	使途についてチラシを作成し配布したことで、社協の事業内容を周知することができた。	全世帯の協力を得る。	R5.6.1～6.30	納入世帯 18,765 世帯	実績 納入世帯　18,765 世帯 納入金額　9,390,551 円 ※依頼世帯　28,370 世帯
	事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
	② 法人会費	1口1,000円とし3口以上の協力を市内法人へ依頼する。	使途についてチラシを作成し配布したことで、社協の事業内容を周知することができた。	市内法人数と経営状況の把握が必要である。	R5.5.1～5.31	納入法人 618 社	実績 納入法人　618 社 納入金額　1,820,000 円 ※依頼法人　725 社
適正な委員会の運営及び職員配置	◆組織強化						
	① 理事会	理事8名・監事2名の合計10名で組織し、法人業務の決定機関である。	社会福祉法改正に取り理事会開催回数が制限されたが、意思疎通をはかるため予算と決算の中間期に報告会を開催した。	事業運営の適切な対応が必要である。	開催日 R5.5.24 R5.6.16 R5.10.13 R6.3.6	出席者 57 名	内容 第1回　15 名 ・ 事業報告、決算報告、監査報告 ・ 定時評議員会の開催 ・ 評議員候補者の推薦 ・ 評議員選任解任委員会の開催 ・ 理事、監事候補者の推薦 第2回　14 名 ・会長、副会長、常務理事の選定 第3回　14 名 ・ 会長表彰候補者の選考 ・ 評議員候補者の推薦 ・ 評議員選任解任委員の選任 ・ 評議員選任解任委員会の開催 第4回　14 名 ・ 定時評議員会の開催 ・ 事業計画（案）、予算（案） ・ 指名競争入札の実施 ・ 指名競争入札業者の選定 ・ 次年度役員等賠償責任保険契約
	② 評議員会	27名の評議員をもって組織し、法人の議決機関である。	事業の適正な執行と意思疎通のため、支部長会議を開催し補完する。	事業運営の適切な対応が必要である。	開催日 R5.6.16 R6.3.22	出席者 63 名	内容 第1回　31 名 ・ 事業報告、決算報告、監査報告 ・ 理事、監事の選任 第2回　32 名 ・ 事業計画（案）、予算（案） ・ 次年度役員等賠償責任保険契約
	③ 財政委員会	経営改善計画の審査及び補助金交付審査を行う。	決算予算の説明を行ったほか、経営改善計画の進捗状況を報告し、補助金の適正交付について審査した。	経営改善計画の状況を点検する必要がある。	開催日 R5.7.31 R6.2.27	出席者 25 名	内容 第1回　13 名 ・委嘱状交付 ・決算と予算のあらまし ・福祉振興基金の積立 ・民生委員児童委員協議会補助金審査 ・福祉団体連絡協議会補助金審査 第2回　12 名 ・ 当年度決算見込み ・ 次年度予算見込み
	④ 企画委員会	地域福祉活動を展開するニーズの調査研究及び地域福祉活動計画に関する事項の協議検討する。	令和５年度の事業計画並びに第七次地域福祉活動計画作成に関する報告を行うことができた。	活動の方向性や計画作成についての活発な意見を頂けるような会議運営を検討する必要がある。	開催日 R5.7.27 R6.2.29	出席者 25 名	内容 第1回　12 名 ・委員長・副委員長の選任 ・令和５年度事業計画について ・第七次地域福祉活動計画策定について 第2回　13 名 ・ 第七次地域福祉活動計画策定について ・ 令和６年度事業計画について

	事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
	⑤ 広報委員会	社協だより発行にあたり記事の提供依頼と原稿の校正を行う。	予定通り開催し、活発な意見交換ができた。	記事の提供について検討が必要である。	開催日 R5.4.3 R5.6.5 R5.8.4 R5.10.2 R5.11.27	出席者 46 名	内容 ・5月号校正及び7月号企画 9 名 ・7月号校正及び9月号企画 10 名 ・9月号校正及び11月号企画 11 名 ・11月号校正及び1月号企画 7 名 ・1月号校正 9 名
指定管理としての施設の効果的活用	◆指定管理						
	① 適正な施設運営 （市指定管理事業）	温水プール・浴室・部屋の貸館・マイクロバスの運行を行う。	男子浴室や外壁工事などの大規模修繕があったが、営業を停止することなく提供できた。	市民サービスを第一に考えるが、公平なサービス提供が原則となるため万人が満足するサービスを提供するのが難しい。	開催日	出席者 0 名	総合福祉センター運営委員会 第1回 0 名 ・ 第2回 開催なし 0 名 ・
					開催日 毎月 第2土曜日	参加者 0 名	ワンポイントレッスン 0 回 0 名 休止中

●利用実績

月	温水プール							浴室					バス
	一般		高齢者		小・中学生		減免者	60歳以上		60歳未満		減免者	利用者
	市内	市外	市内	市外	市内	市外		市内	市外	市内	市外		
4	392	10	1,247	19	91	3	120	293	0	16	0	31	213
5	532	10	1,405	21	75	3	144	271	0	26	0	42	115
6	584	8	1,420	11	118	5	186	225	0	26	0	22	200
7	807	28	1,896	20	272	26	215	211	0	15	0	26	205
8	795	42	2,061	10	222	34	284	264	0	24	0	31	162
9	686	26	1,795	5	112	7	257	288	0	18	0	19	120
10	450	18	1,623	9	60	7	334	235	0	20	0	55	167
11	393	22	1,620	14	52	3	183	309	0	44	1	35	221
12	175	10	866	4	28	0	114	347	0	23	0	28	98
1	312	16	1,193	21	35	4	140	341	1	35	0	24	104
2	327	12	1,435	25	63	7	170	331	0	31	1	24	210
3	417	12	1,625	22	62	2	158	563	1	55	1	61	189
合計	5,870	214	18,186	181	1,190	101	2,305	3,678	2	333	3	398	2,004

	② 売店運営	総合福祉センターの利用者に対し、野菜や総菜の販売を行う。	コロナ感染予防対策を徹底し営業を行った	ｾﾝﾀｰ利用者増員の為の対策	4/1～8/4 月～金 10:00～16:00 8/7～ 第2･4木曜日 10:30～13:00	●売上実績

月	金額
4	243,300
5	240,190
6	307,269
7	342,145
8	176,199
9	157,730
10	145,252
11	87,400
12	104,050
1	87,350
2	79,190
3	118,360
合計	2,088,435